



友達と関わり合い、主体的に学ぶ子供の姿を目指して

研究主任 中野 美貴恵

庄南小学校では、「友達と関わり合い、主体的に学ぶ子供」を目指し、教育活動を進めています。今年度は、特に「対話的な学び」に主眼を置いています。「対話」は、ただおしゃべりすることではありません。私たちが目指す対話は、子供たちが互いの思いや考えを受け止め、考えを関わらせ合いながら学ぶことです。

では、どうすれば対話を生み出すことができるのでしょうか。

まずは、子供たちが対話したくなるような問いを教師が提供することが大切です。2年生の生活科「ぐんぐん育てわたしの野菜」の授業で、こんな1コマがありました。

- A: ぼくが困っていることは、葉が虫食いされたことです。
 - B: ネットを掛ければいいよ。
 - C: マリーゴールドを植えるのもいいよ。
 - D: 葉まけばいいじゃない!
- 「えーっ! (葉をまくことをためらう子供たち)」



このあと、子供たちの話合いが盛り上がり、葉をまかずに対策する方法はないのか一生懸命考えました。そして、自分はどのように虫食い対策をするのか決めることができました。

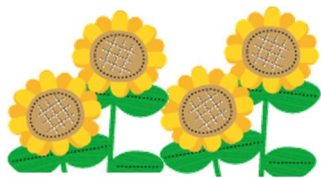
このように、子供たちがもっと知りたくなり、調べたくなり、考えたことを人に伝えたくなるような問いを工夫しようと、授業研究を進めています。



また、「わからない」、「どうしてそう考えたの?」と安心して言える人間関係を築くことも大切だと考えます。そのために、**友達のよさを認め合える仲間づくり**の工夫もしています。

これらの活動を繰り返しながら、「友達と関わり合い、主体的に学ぶ子供」を育てていきたいと思っています。

学級目標の振り返り



花 いっぱいの学校にしよう

栽培担当 武田 洋子

庄南小学校の花壇に、新しい花が育ち始めています。

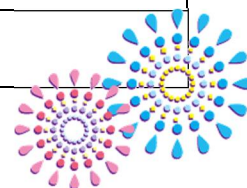
これらの花々は、地域の花と緑の推進委員さんの協力のもと、全校で植えたものです。

栽培・ボランティア委員会の子供たちや1年生と3年生の子供たちは、花と緑の推進委員さんのアドバイスを受けて、花壇に花苗を植えました。そして、栽培・ボランティア委員会の子供たちは、そのアドバイスを受けて4年生以上の花が大好きな子供たちと一緒に玄関前のプランターに花苗を植えました。教わったとおりに、花苗を植える前に深く穴を掘り、水を注いで空気の通り道を作ることや水持ちをよくするように苗の周りに丸く円を描いておくことを心がけました。今は毎日の水やりや除草を行い、全校児童や来校される方の心を和ませるような、きれいな花壇になるように取り組んでいます。



8月の予定

| | | | | | |
|----|---|-----------------|----|---|---------------------------|
| 8 | 日 | 山の日 | 25 | 水 | 1、2、5、6年登校日 8:15~10:10 |
| 9 | 月 | 振替休日 | 26 | 木 | 3、4年登校日 8:15~10:10 |
| 13 | 金 | 閉庁日(~17日) | 30 | 月 | 学校保健委員会 |
| 22 | 日 | 親子環境美化活動(7:00~) | | | |



がんばる庄南っ子

| | | |
|----------------------------------|-----|-----------------|
| カラテ北陸 CUP2021 初心小学生3年男女混合の部 | 優勝 | 3年 高島 碧 |
| ろうきん旗学童軟式野球大会 | 次勝 | 砺波東部庄南野球スポーツ少年団 |
| 高岡市民体育大会 卓球競技会ホープス女子の部 | 第3位 | 6年 藤井 百英 |
| 第37回富山県小学生陸上競技交流大会 小学6年男子100m | 第3位 | 6年 松田 涼太 |